

令和元年度淀川区区政会議 第1回教育・子育て部会 議事要旨

日 時：令和元年6月4日（火）午後6時30分～午後8時14分

場 所：淀川区役所 5階 503会議室

出席者：

- ・委員5名（7名中）

泉水委員（議長）、和田委員（副議長）、石田委員、中道委員、福島委員
[欠席者：岡鼻委員、山本委員]

- ・区役所

西総務課長、榊原教育支援担当課長、武田保健・子育て支援担当課長、
大下保健福祉課福祉担当課長代理、松尾政策企画課長代理 外

内 容：

1. 開会

2. 事務局あいさつ

3. 議題

(1) 平成30年度運営方針の振り返り及び課題と改善策について

(2) その他

資 料：

次第、部会名簿、座席表、配付資料一覧

- ・資料1 令和元年第1回教育・子育て部会 平成30年度の結果を踏まえた改善策検討にあたり、ご意見をうかがいたい内容
 - ・資料2 2018年度運営方針の振り返り（暫定概要版）
 - ・資料3 もと淀川区役所跡地等活用方針
 - ・資料4 令和元年度 区政会議等開催予定
 - ・その他 具体的取組に即したチラシ、「よどマガ！6月号」、ご意見票
-

1. 開会

2. 事務局あいさつ

3. 議題

(1) 平成30年度運営方針の振り返り及び課題と改善策について

○資料1、資料2について説明

（榊原教育支援担当課長）（武田保健・子育て支援担当課長）

(大下保健福祉課福祉担当課長代理)

質疑応答・意見交換

【2-1-1 民間事業者を活用した課外授業（ヨドジュク）】

- ・子どもは部活で忙しく、疲れて帰ってきます。そこからでは、勉強する時間が確保できないです。親も忙しく、家の中で勉強するように促すことも難しいです。（中道委員）

⇒ヨドジュクは一コマ目19時～20時10分、二コマ目が20時15分～21時25分となっており、二コマ目になると部活終わりの子どもが合流しています。区役所としてはヨドジュクを含め週に5日間程度勉強してほしいと考えています。（榊原教育支援担当課長）

- ・家庭学習の手引きを学校の校長先生が全保護者に配布していますが、それだけでは難しいです。ヨドジュクで自宅学習のアドバイスをしているところは良いですが、家庭学習の習慣を、親を含めて家庭内で身につけてもらうのは難しいのではないのでしょうか。（泉水委員）

- ・自分がその日に学んだことを理解することが家庭学習だと思うので、塾の先生には理解している内容と理解していない内容を説明してあげてほしいです。そして理解していない部分に即した宿題を出してあげてほしいです。（福島委員）

- ・子どもたちがどこまで理解しているのかを把握できるカルテのようなものがあれば、細かな指導ができるのではないのでしょうか。（石田委員）

⇒5人の子どもにつき1人先生がついているので、それぞれの理解度を把握し、個人に合わせた宿題を与えています。（榊原教育支援担当課長）

- ・部活中心の生活になっている子どもに対しては、部活が始まる前に課題を与え、課題が終わり次第部活に参加できるといったシステムをとっている例もあります。中学生になると課題の提出がテスト前になり、自ら考えて学習しなければ提出間際にあせって空白を埋めるような雑な勉強の仕方をしてしまう子もいると思います。（福島委員）

⇒全国学力学習状況調査を見ても、記述式やテストの分量が多いことがわかります。自分で自学を進めないということもあろうかと思います。いただいたご意見を踏まえて考えていこうと思います。(榊原教育支援担当課長)

【2-1-7 生活困窮家庭の子どもへの学習支援事業（子ども未来輝き事業）】

⇒この事業は、自己肯定感を醸成し、学習意欲の向上につなげたいと考えています。しかし、それを測る指標が「事業に参加して楽しい」と感じる子どもの割合になっています。どのような指標であれば事業を適切に評価できるのかご意見をいただきたいです。(大下保健福祉課福祉担当課長代理)

- ・何か目的意識を持てるような事業内容にしてみるといいと思います。自分自身で気づきを得られるような事業を行えばいいと思います。(中道委員)

⇒今年度は、先生や親のような縦の関係でなく、大学生や若い社会人のような斜めの関係にいる人の話を聞き、いろいろな価値観を知ることができる機会を設けようとしています。(大下保健福祉課福祉担当課長代理)

- ・身近な目標があれば、チャレンジするきっかけになるとと思います。自分がいま何をすべきか、どうなりたいかを理解できるようになるためにも、子どもたちが刺激を受け、自分の可能性の幅を広げられるような体験があればいいと思います。(福島委員)

⇒10年先くらいに一つ目標設定ができるように、大学を見に行ってみてはどうかという話も出ています。(大下保健福祉課福祉担当課長代理)

- ・大学に行ってみることは、中学生には適した取り組みだと思いますが、小学生(低学年)には少し現実離れしているのではないかと思います。(石田委員)

- ・小学校低学年には自然と触れ合うような環境学習から学習につながればいいと思います。(福島委員)

⇒今年度は十三干潟の水生生物を調べるような環境学習を計画しています。夏休み等を利用し、自由研究のように成果物になるような形にできればと計画しています。(大下保健福祉課福祉担当課長代理)

- ・発表のような形をとる場合、グループで行い、グループの中で自分の役割を理

解し、自分の評価を自分でつけられるようになると自己肯定感も高まるのではないかと思います。(福島委員)

- ・体験学習では参加して楽しかったと感じる子どもが多いと思いますが、勉強となれば苦手な子どももいます。「参加してよかった」と感じた割合で事業を評価してみるのはいかがでしょうか。(泉水委員)

【2-2-3 よどっこ子育て支援事業】

- ・一人目の子どものときには相談に行ったり、施設を訪れたりしますが二人目、三人目となると子育てに慣れたこともあり、利用しづらい状況ができていると思います。(中道委員)

- ・二歳、三歳のような子育てが大変な時期に人と関われないとしんどいです。電話でもいいので施設や区役所と話ができたり、ほかの親と悩みを共有できたりすれば気は楽になると思います。(福島委員)

⇒区役所の子育て相談は月曜日から金曜日までの9時から17時30分で受け付けています。子育て相談を紹介するチラシはそれぞれの施設に配っていますが、どのようにすればたくさんの人に届けることができるのかご意見をいただきたいです。(武田保健・子育て支援担当課長)(佐々木保健福祉課担当係長)

- ・チラシをもらっても行かないような人もいます。そういった方はなかなか出てこないのではないのでしょうか。ボランティアでやっている子育てサロンなども月に一回しかなく、利用するのが難しいと思います。(中道委員)

- ・お金を払ってでも行きたい人はいると思うので、行こうと思ってもいけないような人に対して、3歳児健診や1歳半健診の際に区役所が声をかけてあげればいいと思います。(福島委員)

- ・子どもが生まれたときに限らず、半年、1歳児健診の際などにチラシの配布や紹介ができれば、行きやすくなると思います。回覧板などを回してみてもいいのではないのでしょうか。(石田委員)

(2) その他

○資料 3 について説明
(松尾政策企画課長代理)

質疑応答・意見交換

・DV の話題を最近よく聞きますが区役所で何か対応されていますか(石田委員)

⇒子育て支援室にご連絡いただき、ご相談ください。(武田保健・子育て支援担当課長)

以上